



しんごうのその便り

社会福祉法人 神郷の園

〒719-3611

岡山県新見市神郷下神代 1955 番地

Tel (0867) 92-6311 Fax (0867) 92-6008

E-mail: shingonosono1985@ybb.ne.jp

新型コロナウイルス接種開始

施設長 上山 晋

今年は、平年よりかなり早く梅雨入りしましたが、湿気が少なく過ごし易い日々が続いています。一方で、新型コロナウイルスは5月連休明けから全国で感染が急拡大し、恐れていた第4波が起きました。岡山県では緊急事態宣言が発出され、6月20日まで延長されています。市内でも、企業や家庭内でクラスターとなり、本園職員の中でクラスターとなり、本園職員の身近で間接的な接触者が発生し、何人かの職員を自宅待機させるなどの措置を行いました。幸い、職員やその家族には感染者や濃厚接触者は発生しておりませんので、ご安心ください。

そのような中、高齢者のワクチン接種が始まり、本園の65才以上の利用者さんにも6月1日から順次接種していただく予定です。併せて、本園職員も高齢者施設等の職員と言うことで、6月中に全員が第1回目のワクチン接種をしていただけることになりました。65歳未満の利用者さんでもできるだけ早くワクチン接種していただき、全員が接種を無事に終え、一日も早く安全な生活が戻ることを願っています。

引き続き感染防止に努めてまいりますので、家族会の皆様には、ご理解と御協力をお願いいたします。

GWおでかけ

生活支援員 實石 智奈美

5月1日(土) 鳥取県日野町の滝山公園にドライブを兼ねて花見に行きました。皆さんこの日をとても楽しみにされており、移動中の車内では、楽しそうに色々な話をされていました。この時期の滝山公園は、3万本のダイセンミツバツツジが山全体をピンク色に染め上げており、皆さん桜とツツジの美しい競演を眺めながら散歩したり、ジュースを飲んだりして、笑顔いっぱいでした。新型コロナウイルスの影響で外部の人との接触を避けながら、天候に恵まれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。そして、平穏な日々が早く戻りますようにと願っています。



カード作り

生活支援員 児谷 初代



5月2日(日) 昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大のため、帰省や面会ができなかったご家族に送るカードを作りしました。皆さんとても意欲的に取り組まれました。また、ご家族との思い出話などに花を咲かせていました。皆さんのご家族を思う気持ちと会いたいと思う気持ちを強く感じました。新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、以前のように帰省や面会ができる日が来るまで、皆さんに穏やかな毎日を過ごしてもらえ、サポートしていきたいと思っています。



美容サークル

生活支援員 林 晴美

3月4日（火）本年度から毎月第20日（火）のサークル活動で女子利用者が参加する「美容サークル」が開始

者3月4日（火）本年度から毎月第20日（火）のサークル活動で女子利用者が参加する「美容サークル」が開始

にの選とサおジかべ室女て身ちキーンをハーてし日まり者3月4日（火）本年度から毎月第20日（火）のサークル活動で女子利用者が参加する「美容サークル」が開始



ま時てーてりもー色にてを隣子塗布と聞とにー嬉見同を布興味津々で

お別れ会

5月8日（土）県内の介護老人施設に転居される岩崎さんと今田さんのお別れ会を女子寮で行いました。



員のみで行いました。施設長から記念の花籠贈呈のあと、利用者さんと記念撮影を行いました。皆さんのたくさんの笑顔でお二人を見送りました。



今月の予定

- 10日 理事会
- 18日 誕生会 避難訓練
- 25日 評議員会

■今月の家族会の日は、新型コロナウイルス感染防止の為、中止させていただきます。

■ご家族の皆様には、様々な行事へのご参加や面会などを制限させていただき、誠に申し訳ございません。新型コロナウイルスの感染防止のため、帰省及び面会の制限を続けさせていただきますので、何卒、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

■新型コロナウイルスのワクチン接種が始まります。
6月1日から65歳以上の高齢の利用者・職員
6月8日からその他の職員が順次接種します。
6月中に第1回目を終える予定です。

6月お知らせ

この度、利用者の岩崎八重子さんと今田文子さんが5月13日付をもって、岡山県総社市の介護老人福祉施設光慶館に入所されることになりました。岩崎さんは昭和60年7月に入所され、約36年間をこの施設で過ごされました。いつもニコニコしながら握手を求めてこられる、とても可愛い方でした。また、今田さんは平成3年4月に入所され、約30年間をこの施設で過ごされました。挨拶すると笑顔で手を振ってくれる楽しい方でした。お二人とも近年は車椅子で生活することが増え、加齢による身体の衰えもあり、ご家族のご意向で、老人介護施設での生活となりました。とても寂しいことですが、新しい施設でも笑顔を絶やさず、健やかな毎日を送られることをお祈りしています。

利用者異動